

テーマ別パスファインダー



イラン映画



✦ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2013年2月14日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

I. イントロダクション

＜ イラン映画 とは？

アッバース・キアロスタミ監督の作品や、第84回アカデミー賞外国語映画賞を獲得した『別離』など、イラン映画やイラン人映画監督の才能は世界でも広く認知されるようになりました。日本でもほとんどがミニシアターで上映されているにもかかわらず、根強いファンを獲得し続けています。

このパスファインダーでは、外国語学部のAVライブラリーに所蔵されているDVDを中心に、その他関係する文献なども紹介していきます。

※一部、本学に所蔵されていないものもあります。

関係分野：イラン、イランとイスラーム、映画、芸術

II. はじめてイラン映画を観るとい人へ

＜ (2002) 『イラン映画をみに行こう』 ブルースインターアクションズ

イラン映画や、イラン人監督を広く紹介した本でとてもカラフル。そのほかにもイランの映画事情への解説が載っています。まずは、この本から気になる作品を見つけてみるのがおすすめ。【未所蔵】

III. 各監督代表作

＜ アスガー・ファルハディ監督 (2011) 『彼女が消えた浜辺』 角川書店

カスピ海沿岸のリゾート地で週末を過ごそうとやってきた大学時代の友人たちが小さな事件に遭いそこから、一人の女性が失踪する心理ミステリー。イランの文化や中流階級の人々の生活を上手く用いながら、人間のエゴや不安を巧みに描いている。ファルハディ監督は、この映画や『別離』のように、イラン国外で人気のあるアーティスティックな映画と、イラン国内で人気のメロドラマのちょうど間となるような映画を得意としている。【外国図-3階 AV 資料 P-0090】

＜ アッバス・キアロスタミ監督 (1987 作) 『友だちのうちはどこ？』 パイオニア LCD

間違えて友達のノートを学校に持ってきたモハンマド。そのノートを返しに友達の家へ向かうというストーリー。何の変哲もないストーリーだが、その演出によってキアロスタミの代表作となった。主役の少年は素人の子どもである。【外国図-3階 AV 資料 P-0025】

＜ ジャファル・パナヒ監督 (2003) 『チャドルと生きる』 ナド

チャドルと呼ばれる黒い布をかぶり、様々な困難に直面しながら懸命に生きるイランの女性たちを描いている。【外国図-3階 AV 資料 P-0075】

＜ バフマン・ゴバディ監督（2003）『酔っぱらった馬の時間』 Imagica

「国家を持たない世界最大の民族」と言われるクルド民族を取り上げ、イランの山岳地帯で過酷な状況を強いられながらも力強く生きるクルド人姉弟を描いた作品。自身もクルド人である監督の経験が投影されている。カンヌ国際映画祭カメラ・ドール等を受賞した。【外国図-3 階 AV 資料 P-0080】

＜ マジッド・マジディ監督（2000）『運動靴と赤い金魚』 アスミック：東芝デジタルフロンティア

妹の運動靴をなくした少年アリは妹の運動靴をなくしてしまう。それからは兄の一足の靴を二人で交互に履いて登校していた。マラソン大会での賞品・運動靴を狙って妹のため必死に奮闘するアリを描いた作品。モントリオール世界映画祭でグランプリを含む4部門を受賞し、第71回アカデミー賞外国語映画賞にノミネートされた。【外国図-3 階 AV 資料 P-0056】

＜ モフセン・マフマルバフ監督（2002）『サイクリスト』 ブロードウェイ

アフガニスタンからやってきた難民の少年と興行師の賭けを描いた作品。その賭けとは1週間自転車に乗ったまま過ごすことができれば、大金が手に入るというもの。【外国図-3 階 AV 資料 P-0076】

マフマルバフ監督のスピーチやレポートを集めた本：

モフセン・マフマルバフ(2001)『アフガニスタンの仏像は破壊されたのではない恥辱のあまり崩れ落ちたのだ』現代企画室、武井みゆき、渡部良子訳【外国図-4 階開架 302.262||16】

IV. 子どもを取り上げた作品

本や映画などに対する政府による検閲が厳しいイランでは、直接的な政府批判を避けたり、政府による検閲を通るために子供を主人公として作られる映画が多く存在します。上に挙げたキアロスタミやマジディの作品も子供が主役で、他にも以下のようなものがあります。

＜ マジッド・マジディ（1999）『太陽は、ぼくの瞳』 アミューズピクチャーズ

母親がおらず、父親の元を離れて盲学校に通う盲目の少年を描いた作品。手と耳で自然の美しさを感じ取る姿を表現豊かに描き、盲目の息子を持ち再婚を望む父親の苦悩なども描かれている。1999年モントリオール世界映画祭でグランプリ受賞。【外国図-3 階 AV 資料 P-0057】

＜ モハマド・アリ・タレビ（2001）『柳と風』 Imagica

学校のガラス窓を割ってしまった少年が、先生からすぐに直すように言われ新しい窓ガラスを探し奮闘する姿を描いている。修理業者もいない、バスも通らないから近くにいる人のバイクの後ろに乗せてもらう、ガラスは店の主人が手作業で丁度良いサイズに切らなければならないなど、今の日本では考えられないような生活風景が描かれ、少年の様子をひたすらカメラで追っていく。【外国図-3 階 AV 資料 P-0072】

＜ アボルファズル・ジャリリ（2001）『少年と砂漠のカフェ』バンダイビジュアル

アフガニスタンから逃れてきた不法移民者の少年が、自力でペルシア語を学び懸命に生きようとしながらも困難にぶつかる姿を描いた作品。難民であるこの少年の姿を通して、アフガニスタンの苛酷な状況を訴えようとした。2001年ナント三大陸映画祭グランプリ、同年ロカルノ国際映画祭審査員特別賞、同年東京フィルメックス審査員特別賞などを受賞。【外国図-3階 AV 資料 P-0077】

V. 政府に立ち向かう映画

イラン映画を語るときに、政府との対立を避けて通ることはできません。政府の検閲にひっかかってしまえば、国内上映禁止やDVD発禁、監督の投獄などが待ち受けています。しかし、それでも映画を作り、国内のみならず世界の人にイラン社会やイラン人、イラン映画の状況を知ってほしいと奮闘する監督も多くいます。

＜ バフマン・ゴバディ（2011）『ペルシャ猫を誰も知らない』Mij Films

音楽にも厳しい統制がなされるイランにおいて、バンド活動やライブ、CDの発売は容易なことではない。それでも自分たちの好きな音楽をやりたいと国外でのライブの開催を目指す青年たちの姿、イランにおけるアングラミュージックの現状が描かれる。作品に登場するのは皆俳優ではなく実際のミュージシャンであり、その多くがこの映画の製作後、海外に移住し音楽活動を続けている。ゴバディ監督はこの映画を製作した後、現在に至るまで国外亡命を続けている。第62回カンヌ国際映画祭のある視点部門で上映。

【外国図-3階 AV 資料 P-0089】

＜ ジャファル・パナヒ（2011作）『これは映画ではない』DVD未発売

反体制的な活動により、20年間の映画製作禁止、出国禁止、マスコミとの接触禁止を言い渡され自宅軟禁中のパナヒが、「ただカメラを回して脚本を読むだけ。映画製作じゃないから構わないだろ？」という痛烈なブラックユーモアで撮った作品。自宅の絨毯上での脚本の再現、友人へ苦悩を吐露する姿、同じマンションに住む住民との交流などを映している。この映画(?)は、USBに入れられ、「これは映画ではない」というタイトルが付けられカンヌ国際映画祭に送られたという。監督には昨年サハロフ賞が贈られた。

【未所蔵】

VI. 日本とイラン映画

日本人を起用したり、あるいは日本を舞台に撮られたイラン映画/イラン人監督の映画も存在します。

＜ キャマル・タブリーズィー（2005）『風の絨毯』 ソニーピクチャーズエンタテインメント

飛騨高山の祭りで使う神輿のためにデザインされた絨毯をイランまで取りに行く、貿易商の父と娘が、言葉も文化も違うイランで右往左往する姿を描いている。日本語の会話に不自然なところはあるが、時間に対する考え方を始めとした文化の相違や、心を交わす様子を情感豊かに描き、飛騨高山やイランの都市エスファハーンの美しさをも映している。三國連太郎、工藤夕貴出演。【未所蔵】

＜ アボルファズル・ジャリリ（2007?）『ハーフェズ：ペルシャの詩(うた)』 ハピネット

「ハーフェズ」とはコーランを暗唱できるものの尊称であり、イラン古典詩人のハーフェズはそこから名を取ったと言われている。主人公の青年が詩人ハーフェズの本名と同じ名であること、コーランを暗唱できることなどから、ハーフェズの詩句からインスパイアされて撮られた作品だと言われている。未婚の男女の接触が禁じられているため、壁一枚を挟みコーランを教える青年と、高位宗教者の娘の許されぬ愛を描いている。沙漠の情景は非常に美しい。麻生久美子がイラン人の父とチベット人の母を持つ娘役として出演している。【外国図-3 階 AV 資料 P-0085】

＜ アッバス・キアロスタミ（2011 作）『ライク・サムワン・インラブ』 DVD 未発売

キアロスタミが日本・フランス共同制作で日本を舞台に撮った作品。84 歳の元大学教授と、デートクラブで働く女子大生、女子大生の恋人である青年の 3 人を中心とした愛を描いている。ロケ地は東京、神奈川、静岡で出演者は毎日その日分の台本しか渡されず、物語の結末も知らされないまま撮影されたという。高梨臨、加瀬亮出演。キアロスタミはこの作品の前に、イタリアを舞台とした映画『トスカーナの贗作』を撮っている。【未所蔵】

＜ アミール・ナデリ（2012）『CUT』 スタイルジャム

兄が借金のトラブルに巻き込まれ死んだという知らせを受けた売れない映画監督が、兄が自分のために借金をしていたことを知り、罪悪感から兄が死んだヤクザ事務所で殴られ屋を始める。イランの名匠ナデリが日本のヤクザ世界を描いた作品。西島秀俊、常盤貴子出演。【未所蔵】

VII. イラン国外で活躍する監督

イランの国外でも映画を製作するイラン人監督がいます。

＜ マルジャン・サトラピ (2007) 『ペルセポリス』 ロングライド

フランスで活動するサトラピの半自伝的漫画を原作にした長編アニメーション作品。王政が倒され政治的変革が起きようとしていた 1978 年のイラン。そこで家族と共にテヘランで暮らしていたマルジだが、娘の身を案じた両親によってウィーンへ留学させられる。そこで様々な経験を積み大人へと成長していく姿をユーモラスな皮肉たっぷりに描く。手書きによるアニメは見ごたえあり。07 年カンヌ国際映画祭審査員賞受賞。【外国図-3 階 AV 資料 F-0426】

原作となった漫画：

マルジャン・サトラピ (2005) 『イランの少女マルジ』バジリコ, 園田恵子訳【外国図-4 階開架 289.2||393||1】
／——. (2005) 『マルジ、故郷に帰る』——, ——. 【外国図-4 階開架 289.2||393||2】

＜ マルジャン・サトラピ (2007) 『チキンとプラム ～あるバイオリン弾き、最後の夢～』 DVD 未発売

天才的バイオリニスト・アリは大切にしていたバイオリンを妻に壊され死ぬことに決めた。死ぬまでの 1 週間過去を振り返る中で、幼少期のコンプレックスや母が作ってくれたチキンのプラム煮を思い出していた。そしてその中には叶わなかった美しい恋の思い出があった。サトラピ初の実写版だが、テヘランの街並みや古都シーラーズの風景、バーザールの雑踏などをアニメーションも含めて幻想的に描いている。イラーヌを演じたゴルシフテ・ファラハニはイランでも人気の高い実力派俳優。【外国図-3 階 AV 資料 F-0477】

原作となった漫画：

マルジャン・サトラピ (2006) *Chicken with Plums*. Pantheon Books, 園田恵子訳

【外国図 1 階書庫一般 726||333】※英語訳版。原文はフランス語で、日本語訳も発売されています。

＜ シリン・ネシャット (2011) 『Women without Men』 IndiePix 制作

アメリカで活躍するイラン人映像作家・シリン・ネシャットの初監督作品。Sharnush Parsipur の同名の小説を原作に、1953 年夏のクーデター前後の 4 人の女性たちのそれぞれの人生を描いている。寓意的、幻想的、詩的映像は彼女のそれまでの作品に通じるものがある。坂本龍一が音楽を担当している。第 66 回ヴェネチア国際映画祭で銀獅子賞を受賞。【未所蔵】※日本では DVD になっていないようです。米国版あり。日本では第 2 回恵比寿映像祭で上映。

----- MEMO -----

✧ [パスファインダーの凡例]

✧ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

✧ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

✧ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

✧ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。